

移動現象操作第2回 - 分離操作の新たな評価法 -

分離操作が混合操作の逆で、混合状態にあるものを完全に別々の領域に分ける操作であることに着目し、完全に分離された状態は不確かさが最小になる状態に対応するとの考えに基づいて、情報エントロピーによる分離度の評価指標を導出する。